

1、私達の希望が叶う物件ってどんな物件でしょうか？

マイホームを探していて、希望条件はあるものの
それが本当に自分たちの希望を満たすものなのかどうか？

一戸建てを探しているといっていたけど、よくよく考えるとマンションの方が
合っているんじゃないか？とか

駅徒歩10分圏内で探していたけど
本当はもう少し妥協すべきなんじゃないか？ とか

自分でも自分の希望がわからなくなってくるということは
多くの方が物件探しの途中で経験することです

その理由は私が思うにいくつかあるのですが
大きな理由の一つは、物件探しを、物件のスペックからしかしていない。ということ

どこのホームページや物件検索サイトでも、物件を探す時に
『駅からの距離』『価格』『広さ』『築年数』などなど、こういった物件のスペック
を入力しないと物件が探せません。
不動産会社に行っても、検索サイトと同じようにスペックを通常は聞かれると思います

しかし、これだけしか考えていないと
後になって『さてよ、本当にそれが自分たちの希望条件でいいのか？』と
なんとなく違和感を感じたりするものです

物件のスペックで考えるのが悪いのではないのですが
そのスペックをもう少し掘り下げる作業が必要だと思っています

希望条件を考える時には、だいたい先入観や他人の影響、イメージ等が入ってしまいます。
ですから、あなたご自身が『こういう物件が欲しい』と思っても
実はそれはイメージだけで、本当に必要なものと少しづれていたりします
それが後になって違和感としてあらわれて、今回のような
『自分達にはどんな物件が合っているの？』という気持ちになってくると思うのです

掘り下げ方は色々ありますが、例えば、

『駅は戸塚駅で探しています』→『他の駅では駄目ですか？』

『価格は3000万円以内で』→『根拠は？』

『広さは4LDKで90㎡以上で』→『本当に必要ですか？』

などなど、自分に質問をしてみること。

上の文章だけ見ると、アゲアシ取りのように見えるかもしれませんがこのように、もう一步踏み込んで考える作業が必要だと思っています

希望を掘り下げた時に、ちゃんとした理由があるものはやっぱり必要な条件だったりして、はっきりと答えられることが多いのですがイメージや先入観が多く入った希望条件ですと、やはり『うーん・・・』と考えこんでしまったりすると思います

考えこんでしまうのが決して悪い状態な訳では無いですし考え抜いて無理やり答えを出す必要は無くてもその考えこんでしまった希望条件については、『あんまり捉われなくていいんだな』と客観的に思っているだけでもいいと思います

そういう作業をしていくとゆずれる点と、どうしてもゆずれない点というのが希望条件の中でも分かれてくると思います

そうやって、大事な所とそうでない所がはっきりしてくると自分たちに合った物件もはっきりしてきます

他にも『希望条件ではなく、絶対嫌だという条件を考える』という掘り下げ方もあります

嫌な事というのは、自分の経験だったり、自分の本当の気持ちを反映している事が多いので、希望を考えるより、わりと楽に考えられると思います。

なぜ、希望条件を考えるのにこんな面倒な作業が必要なのか？それはマイホーム探しには制約があるからです。

これも、あれも、それも、と全ての希望条件を叶えてくれる物件が本当にあればこんな面倒な掘り下げ作業も必要ないのですが

資金面やタイミング、実際の物件相場などなど
現実にはたくさんの制約条件があります

限られた予算の中で、希望をなるべく多く満たす物件
限られた時間の中で探せる物件
限られた学区や立地の中でより良い物件

と制約の内容も人それぞれですが
その制約の中でも、一番自分たちに合う物件を探すには
やはり、希望条件を一度掘り下げて、絶対叶えたいこと、妥協するところ
を明確にしておくのが自分の決断に自信をもてることにもなります

でも『掘り下げて考えてみましょう!』といっても
実はやってみると結構大変で、まとまらないことも多いです

だからこそ、私たちのような専門家のアドバイスが必要で
物件の希望条件を聞いて、その通りに物件を紹介するだけなら
いまや物件検索サイトで十分なのです

マイホームを買う事の目的や、希望条件の強弱の把握
色々な制約条件があるなかで、ベストな選択をしていくために
サポートやアドバイスをしてくれる、そういった事はコンピューターではできません

そういう事にこそ、私達不動産会社のサポートが必要です
そういった関係で、営業マンとマイホーム探しを進められると
自分達の納得できる物件が見つけれられます